

令和8年 2月16日

川崎市議会議長 原 典之 様

高津区在住者

ほか 5,104名

川崎市民プラザの存続を求める要望に関する請願

請願の要旨

利用者、周辺住民、町内会・自治会の声をよく聴いて、これまでの川崎市民プラザが果たしてきた機能・規模を十分考慮して、市民の要望を十分取り入れ、建て替えも含め整備、存続させること。

請願の理由

市は、川崎市民プラザを2027年（令和9年）3月末で閉鎖すると発表しました。大規模改修と耐震補強工事にお金がかかるという理由です。その後の整備について、市は「同規模・機能での建て替えの検討は行っておらず、費用も試算していない」、「今年（2025年（令和7年））中に、施設整備の検討方法やスケジュールを提案する」としています。

川崎市民プラザは、橘、梶ヶ谷地域の方々の多くの支援・協力があった施設であり、町内会の盆踊りや橘地区のふるさと祭りなど重要な催し物が行われる橘地域で唯一の総合施設です。61種類もの教室・講座が開かれ、24万人が利用しているなど多くの市民や町内会・自治会にとって重要な施設です。体育施設を利用している方からは、「プールはどうなるのか?」、「体育館を利用しているサークルは?」、町内会からは「盆踊り、お祭り会場をどうしたら?」、「教室・講座はどうなるの?」、お年寄りからは「お風呂はどうなるの?」などの不安な声が出ています。

利用者、周辺住民、町内会・自治会の声をよく聴いて、これまで川崎市民プ

ラザが果たしてきた機能・規模を十分考慮して、市民の要望を十分取り入れ、
建て替えも含めた川崎市民プラザの整備と存続を要望します。

紹介議員

岩 隈 千 尋
平 山 浩 二
青 木 功 雄
宗 田 裕 之